



ラウンジ QR コード

# 2025年アフリカ開発会議が横浜市で

2025年は横浜市で、第9回アフリカ開発会議（TICAD 9）が行われます。第8回はチュニジアで、第7回は横浜市で、3年ごとに開催地になります。第7回では、「ジャンボ アフリカ」というイベントをしました。ラウンジ登録自主団体「アフリカヘリテイジコミティー」といっしょに『ジャンボ演奏』をしました。125号ではこの団体の代表のトニー・ジャスティスさんに、インタビューしました。

\*ジャンボは西アフリカの太鼓です。4面の絵本「アフリカの音」で聞こえてくるのは、このジャンボの音です。



Africa heritage committee

2025年5月11日（日）午後1時半からフードパントリーが始まりました。暑い日。長い列が出来ています。

Q1：トニーさん、今どんなことをしているのですか？おしえてください。

A1：以前は『ノヴィーニェこども食堂&こども寺子屋』を青葉台駅に近い所でたよ。コロナの間は、できない。その代わりに別の場所を借りて、『フードパントリー（食料品の無料配布）』を続けている。毎月一度青葉台に来ますよ。助けてくれる団体からも食料が送られてくる。災害備蓄の食べ物で賞味期限が残っている缶詰やレトルト食品も来るよ。支援を続けてくれる仲間がいますよ。

Q2：青葉区でも相模原市でもフードパントリーを続けていますね。どんな思いで続けているのですか？

A2：わたしの国ガーナや、トーゴ、そしてコンゴでもたくさんのストリートチルドレンがいる。貧しいので家族で大都市に仕事を探しに行きます。仕事はたくさんありません。親とはなれて、子どもはストリートチルドレンです。子どもたちが言葉を習う場所、学校が必要なんです。だから「学校を作るプロジェクト」を始めているよ。アフリカでは仲間がいます。こちらから仕送りをしているよ。16歳以上の子どもたちには職業訓練所も必要なんです。

Q3：キッチンカーがあると聞きました。

A3：キッチンカーもあるよ。災害の時でも使えるようにしています。コロナの時は、きのこ公園（青葉台郵便局のそば）で炊き出し、しましたよ。

**食べ物は人が集まる場、コミュニケーションの場。いろいろな人と会うでしょ。ぼくは、心がやすまる場所にしたいのです。** 子どもたちが自分で芋を作る。作るのも遊ぶのも食べるのもいっしょ。相模原市の小倉で作ります。青葉でも、いろいろな人が集まって、食べて、何か感じるものを持って帰って欲しい。



「もう片付けていいですか？」スタッフの声が聞こえてきました。

「まだ10分あるよ。まだ遅れてくる人があるから、3時まであけて下さい。フードパントリーは1時半から3時までだよ。」

トニーさんのやさしさにふれる一瞬でした。トニーさんは、これからもトニーさんのままで、やり続けるのでしょうかね。

2024年度ラウンジニュース 122号、123号、124号を振り返って

122号の表紙は、読書のイベントの様子を捉えた写真が目を引きます。記事は、読書を通じて異文化を学ぶというテーマで、参加者たちの声や感想が詳しく紹介されています。

123号の表紙は、読書のイベントの様子を捉えた写真が目を引きます。記事は、読書を通じて異文化を学ぶというテーマで、参加者たちの声や感想が詳しく紹介されています。

124号の表紙は、読書のイベントの様子を捉えた写真が目を引きます。記事は、読書を通じて異文化を学ぶというテーマで、参加者たちの声や感想が詳しく紹介されています。

**122号**  
6か国の参加者の中で厳聖逸さんが選んだ「疾走中国」がチャンプ本に。厳さんのインタビューを中心に2月のビブリオバトルを紹介。

**123号**  
「タイ文化研究会」の講師ガモンラッド小峰さん（愛称 モニさん）を紹介しています。「マイペーライ」という言葉からもタイの良さがわかります！

**124号**  
コスタリカ出身のエレーナさんから英語とスペイン語で絵本の読み聞かせや案内でのホームレスの人たちの支援についてのお話を聞きました。

2024年度の青葉ラウンジニュースは地域で活動している外国の方々を紹介しました。ラウンジのHPでは過去の記事も読むことができますので、ぜひ皆さんの活躍をご覧ください。

青葉国際交流ラウンジで最初に対応する窓口スタッフの紹介をします。窓口スタッフ8人はみなさんからの電話による問い合わせや、ラウンジに来られたひとたちへ対応をしています。外国人市民からの生活相談、通訳・翻訳ボランティアの紹介、国際交流や理解に関する広報や図書案内、貸し出しのしかたなども紹介しています。ラウンジの会計や事務をする2人も大切です。情報提供、図書貸し出しなど、地域のみなさまとラウンジをつなぐ役割を担っています。



私たちは、こんなことをしています！

**田奈小学校まちたんけん**  
田奈小の2年生90名が参加しました。7人の外国人の人と「オノマトペ」当てゲームで交流をしました。動物の鳴き声の「オノマトペ」は国によって異なり、互いの音の違いによって驚き、笑って、とても楽しい時間を過ごしました。

**外国につながる中学生のための『高校進学相談会』**  
外国とは違う日本の高校入試制度について、多文化共生ネットワークの高橋清樹先生に教えてもらいました。フィリピン、ネパール、中国の保護者、中学生3人が真剣に先生の進学ガイダンスを受けました。

**「外国人のための防災講座」**  
日本語学習者22名が参加しました。青葉台消防出張所の西條署長が「やさしい日本語」で書かれた資料を使って説明してくれました。初級の学習者も大体のことが理解できたようでした。

# Report \*日本語部会のイベント\*

## ●「日本語教室 木曜クラス交流会」

2024年12月12日 (木曜日)

2回目となるこの日は、「しりとりゲーム」をしたあと、グループに分かれて、みんなで、にぎやかに話し合いをしました。



しりとりゲーム  
日本語でつづけるのは、むずかしいですね。

## ●～子ども学習補習会で学んでいる子どもたち～ 「中学生の学習発表会」と「卒業を祝う会」

2025年3月5日 (木曜日)

作文発表会では書きたいテーマを自由に選び、自分の言葉で伝えました。中学3年生には卒業を祝うプレゼントをしました。

「椅子取りゲーム」や「百人一首」をして、自由なおしゃべりを楽しみました。



椅子取りゲームは外国にもあるのかな？



学習補習教室 作文発表会

# Report \*事業企画部会のイベント\*

## ●中国語教室 交流会

### 「クリスマスとお正月」

2024年12月20日 (金曜日)

中国西安にまつわるクイズや中国で人気の「踢毽子」という羽を蹴りあうゲームをしました。また、縁起のいい絵をモチーフにした切り絵にチャレンジ。クリスマスの歌やプレゼント交換も楽しみ、有意義な交流会となりました。



なんだか分かるかな？



切り絵は、どんな風になるかワクワク

## ●やさしい英語でレクチャー No.30 言語の扉を開く 「6言語を習得する私の道」

2025年2月16日 (日曜日)

講師：センドラワティさん (日本企業勤務・インドネシア出身)

インドネシアではマイノリティである中国系出身のセンドラワティさんが、どのように多言語話者となったのか、道筋や習得方法、他言語を学ぶヒント等を語っていただきました。

言語学習において大切なはっきりとした目的意識や、自身の学習意欲を低下させないための仕組みづくり、学習方法の具体的な選択肢など、直ぐに実践可能なアイデアに溢れた内容でした。



ラウンジでは、本を借りることができます（一人2冊2週間）。どんな本があるのか、ラウンジの本だなでさがしてみるのも面白いです。ラウンジに来てくださいね。



みなさん、ラウンジにはたくさんの本があなたをまっています。本の中で知らない人や世界のことを知ることができます。本を読んで、世界を旅しましょう。この欄で紹介する本が、あなたのガイドです。

## あなたのアフリカは どんなアフリカ？ 本をとおして感じてね。

### 「アフリカのことわざ」

編者：アフリカのことわざ研究会  
発行：東邦出版株式会社

「ことわざのない話は塩気のない料理のようなもの」アフリカのことわざです。それぞれのページには絵が添えられていて、アフリカの生活習慣や気候などを知ることができます。編者のメンバーは「人生の楽しさ」をアフリカで取り戻したとのこと。この本にはその意味を知るヒントがあります。（さ）

### 「しんぞうとひげ」

再話：しまおか ゆみこ  
発行：(株)ポプラ社

アフリカ タンザニアの昔話。  
「パウカー」「パカワー」で始まります。しんぞうとひげはどうして男の人にあるのでしょうか？（こ）

### 「まんが アフリカ少年が日本で育った結果」

著者：星野ルネ  
発行：毎日新聞出版（2018年）

4歳で生まれ故郷カメルーンから母親の結婚に伴い日本に来た星野ルネくんの半生記。両親や東京の祖父母から愛情を一杯受けて育つも、英語より関西弁が得意なルネくんは数々の試練が！ そのルネくんによってユーモアたっぷりに描かれた日常生活。カメルーンのこととはもとより「日本文化」についても考えさせられる貴重な一冊。（お）

### 「アフリカの音」

作者：沢田としき 発行：講談社

西アフリカのお話。太鼓の音が響きます。太鼓のことばが流れてきます。  
グン ゴト パ  
グン ゴト パ  
どんなことが始まるのかな（こ）

## 日本語をならいたい人！

### ①おとなのための教室（高校生以上）

日本語教室 会費：300円/月（どのクラスも）  
水曜日クラス 午前9時30分～11時  
木曜日クラス 午後6時30分～8時  
土曜日クラス 午前9時30分～11時

学習者のニーズや要望に沿った日本語学習だけでなく日本の文化や習慣など生活情報も伝えます。

### ②こども学習補習教室（無料）

（外国につながる子どものためのクラス）水曜日

\*（小学校入学1年前～小学6年生）

午後4時～5時30分

（中学生）午後5時45分～7時15分

外国につながる子どもたちの日本語学習です。それぞれの学習支援、学校の宿題のサポートをします。

※日本語教室に入りたい人は、今は入れるかどうかをラウンジのホームページか、窓口で確認してください。

ラウンジには絵本がいっぱい！



125号ではアフリカの本を紹介しました。

### 編集後記

ラウンジを「いろいろな人があつまる場所」だと思って欲しいな！と、絵本を読んで感じました。トニーさんの話を聞いて、感じました。みなさんもラウンジに来て、何かを感じて下さい。いろいろな人が何かを探しにやってきます。きっと、いろいろな人に会って何かを感じますよ。